

音楽アーティスト科 ダンスパフォーマーコース 受講科目一覧 1年次

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間 45 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅰ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅰ（後期）	34	2	1
講義	業界知識Ⅰ	72	2	4
演習	共同演習Ⅰ	68	2	4
講義	音楽史Ⅰ	68	2	4
講義	アイソレーションⅠ	68	2	4
実習	歌唱/演奏基礎技術Ⅰ	68	2	2
実習	歌唱/演奏実技Ⅰ	68	2	2
実習	楽曲制作Ⅰ	68	2	2
実習	ボディメイクⅠ	68	2	2
実習	パフォーマンス実技Ⅰ	68	2	2
演習	アンサンブル基礎Ⅰ	68	2	4
演習	アンサンブル応用Ⅰ	68	2	4
演習	アンサンブル発展Ⅰ	68	2	4
合計		888	28	40

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅠ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	業界知識Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒				
担当講師 実務経歴					
授業概要					
音楽業界に関わる様々な業種について理解を深めることで、音楽業界の仕組みを学ぶ。					
到達目標					
前期では音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割とコンサート業界、レコーディング業界の仕事内容について学びます。 後期では音楽ビジネスに関わる権利、著作権、印税の仕組み、著作物について学びます。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	音楽業界の仕組み① 音楽業界のお仕事～プロダクションの働きについて理解する 音楽業界の仕組み② レコード会社の働きについて理解する 音楽業界の仕組み③ 音楽出版社とJASRACの働きについて理解する
【前期】 4～7回目	イベント・コンサート業界の仕組み イベント・コンサートに関わる各セクションの仕事について理解する コンサート制作の仕事 イベントやコンサート制作会社の働きについて理解する コンサートスタッフの仕事 舞台監督や各業種の仕事内容について理解を深める コンサート関連の技術系の仕事の流れ PA・照明・ローディーの仕事の流れについて理解を深める
【前期】 8～10回目	業界用語と舞台用語 業界や現場で使われる用語を理解する 音源制作の仕事① CDが出来までの流れと楽曲発注について理解する 音源制作の仕事② プリプロ～レコーディングの流れを理解する
【前期】 11～13回目	音源制作の仕事③ マスタリングについて理解を深める 音源制作の仕事④ ジャケット制作について理解する 音楽ビジネスの現状 変化する音楽産業とミュージシャンの収入について
【前期】 14～18回目	ここまでのまとめとテスト 前期テスト テストの解説
【後期】 19～21回目	音楽ビジネスに関わる権利 ① ミュージシャンに関わる権利について理解する 音楽ビジネスに関わる権利 ② 著作権について理解する 音楽ビジネスに関わる権利 ③ 実演家とレコード製作者の両方に認められている権利について理解する
【後期】 22～25回目	音楽ビジネスに関わる権利 ④ 原盤について理解する 著作権管理事業の現状 著作権管理事業について理解する JASRACの問題点 JASRACの功罪などについて理解する 著作権に関わる印税の仕組み① CD販売の場合の著作権使用料による印税収入などについて理解する
【後期】 26～28回目	著作権に関わる印税の仕組み ② 動画投稿(共有)における著作権使用料などについて理解する 著作権に関わる印税の仕組み ③ 放送使用における著作権使用料について理解する 著作権隣接権に関わる印税の仕組み アーティスト印税の計算などについて理解する
【後期】 29～31回目	著作権にまつわる問題点 インターネットの普及でばら撒かれる海賊版の氾濫などについて理解する 著作物を利用する方法① ビジネス契約と著作権～「所有権」と「著作権」について理解する 著作物を利用する方法② 著作物の自由利用について理解する
【後期】 32～36回目	ここまでのまとめとテスト 後期テスト テストの解説
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。
学生へのメッセージ	仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。
備考	ホームルームも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンスユニット I		授業形態 / 必選	演習	必修
	学則別表上表記	共同演習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■ 音楽アーティスト科 ダンスパフォーマー				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	3歳からダンスを始め多くのジャンルを学び、現在も九州内外で挑戦を続けている。 ・ミュージカル赤毛のアン 2007年 2008年九州公演出演 ・DREAMS COME TRUE WONDER LAND 2015年 九州黒ドリ ・DANCE@LIVE両国国技館2016 HIPHOP FINALIST ・GATSBY DANCE COMPETITION 2015 日本代表(Reckless)・JAPAN DANCE DELIGHT2017 FINALIST(Reckless) ・AK-69 武道館LIVE 2017 SCENE DANCER・NIKE×RIE HATA PROJECT 2019 DANCER・Danchella Australia 2025 solo division 優勝				
授業概要					
様々なジャンルや要素に触れながら、ダンサーのみのパフォーマンスや表現をストリートカルチャーやエンタテインメントなど幅広く習得して行く。集団パフォーマンスやソロなど協調性から個性までの幅を養って行きます。					
到達目標					
・様々な曲やジャンル、ステップや表現を駆使し、スタイルごとやミックススタイルのパフォーマンスできるようになる。					
・2学年合同を活かし教えやサポートに触れ学びの幅を養う。協調性や個性を養い身につける。					
・ダンステクニックや基礎技術、全てのパートを含めたフォーメーション、ステージングの習得。					
・体力の向上、リズム感の向上、パフォーマンス、表現力を磨く。					
・グループとして様々な楽曲を創り上げていき、ステージ発表やLIVE WEEKパフォーマンス・表現力、基礎知識や 技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。2年生が1年生のサポートを行う。
【前期】 4～7回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。2年生がペアで1年生のサポートを行う。
【前期】 8～10回目	3曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。グループを回ごとに分け向上を行う。
【前期】 11～13回目	LIVE WEEK リハーサル:これまでの課題曲の振付、フォーメーションを揃え、一体感や自己表現も更に磨き、仕上げる。
【前期】 14～17回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■前期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	2年生は去年までのソロプロジェクト内容を活用し理想の構想案を発表。1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 21～24回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 25～27回目	構想案での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 28～30回目	LIVE WEEK リハーサル:これまでの課題曲の振付、フォーメーションを揃え、一体感や自己表現も更に磨き、仕上げる。
【後期】 31～34回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■後期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム・完成度」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ソロでの個性や、ダンスグループの中での協調性や個性の出し方、ダンスパフォーマンス・テクニックを身につけ、楽曲をより魅力的に表現することが出来ます。それと同時に、体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上、立ち姿やシルエットなどを意識し、曲調に合ったパフォーマンスを見せることが出来ます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	パフォーマンスの歴史と体系Ⅰ		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	音楽史Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■ 音楽アーティスト科 ダンスパフォーマー/ダンスヴォーカルパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	DA PUMPの全国ツアーに帯同し、振付・サポートダンサーとして出演。 また、テレビCM「TAX」にメイン出演。その他、福岡発のアイドルグループ「LinQ」の総合演出・振付を行うなど、多方面にて活躍中。					
授業概要						
ダンススタイルが誕生した背景や音楽、リズムなどの特性を把握し、あらゆるジャンルに精通したプロのダンサーを目指します。 特にアメリカ音楽の歴史と共にダンスへの関わりを習得する。						
到達目標						
・ダンスへの理解を深める為に音楽のリズムやノリを理解し、ダンススタイル全般への理解が充実する。 ・音楽との関わり方をダンスで表現できるようにする。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1600年代アメリカの奴隷制度からのフィールドハラー
【前期】 4～7回目	ブルース・Jazz・ゴスペルの歴史とダンス
【前期】 8～10回目	Soul Musicの歴史とダンス
【前期】 11～13回目	Funk Musicの歴史とダンス
【前期】 14～17回目	Disco Musicの歴史とダンス ■前期試験：筆記試験により「前期学習内容の理解度」を評価する。
【後期】 18～20回目	Go Go・New Jack Swingの歴史とダンス
【後期】 21～24回目	HipHop Musicの歴史とダンス
【後期】 25～27回目	House Musicの歴史とダンス
【後期】 28～30回目	日本のダンスの歴史①
【後期】 31～34回目	日本のダンスの歴史② ■後期試験：筆記試験により「後期学習内容の理解度」を評価する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する筆記試験により「理解度」を評価する。
学生へのメッセージ	座学で音楽やダンスの歴史を学ぶ機会はなかなかありません。ダンスの知識、イメージを深めていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンスベーシック&アイソレーションⅠ		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	アイソレーションⅠ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科　ダンスパフォーマー/ダンスヴォーカルパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・ストレッチ、体力アップ、体幹トレーニングの習得。(身体を動かす身体に整える)
【前期】 4～7回目	・アイソレーション、リズムトレーニングの理解と習得。
【前期】 8～10回目	・HIPHOPベーシックの中心ステップを習得。(ボックス・チャールストン・スマーフ等)
【前期】 11～13回目	・基礎トレーニング強化＋習得したステップのコンビネーションを制作。
【前期】 14～17回目	コンビネーションの強化＋構成制作。練習後、発表会を行う。 ■前期試験：課題曲を通して、「基礎力 / コンビネーション / 振り付け」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	・アイソレーションのレベルアップと強化。 ・カルチャーステップ習得。
【後期】 21～24回目	・ステップのレベルアップと強化。 ・ロック、ソウル、パンキング等、ジャンル毎のベーシックを習得。
【後期】 25～27回目	・前期に学習したムーブの復習。 ・振り付け制作と練習。
【後期】 28～30回目	・振り付け強化＋構成制作と練習。
【後期】 31～34回目	発表会の実施。 ■後期試験：課題曲を通して、「基礎力 / コンビネーション / 振り付け」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「基礎力 / コンビネーション / 振り付け」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ダンスの面白さ、深さ、歴史などについて基礎から学習していきます。 ダンスベーシック、アイソレーションはすべてダンスジャンルに必要なスキルです。 最終段階ではベーシックを中心とした振り付けを自分で制作する。そして、発表出来るようになるまでが目標です。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヒップホップⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスパフォーマー/ダンスヴォーカルパフォーマー				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	・EXILE、TRF等のメジャーアーティストのツアーバックアップダンサーをこなし、自身でもダンサーとして振り付け等を行う。				

授業概要 ヒップホップダンスの基礎的なステップとスキルの習得とその基礎知識の理解。自由であるヒップホップは様々な時代、ジャンルやスタイルを取り込んでいるので「オールドスクール」「ミドルスクール」「ニュースクール」の3つに分類されたジャンルを中心に理解し、習得を目指す。(現代的なリズムのダンス、BBOYING、POPING、LOCKINGなど他)
到達目標 ・ヒップホップダンスの基礎ステップやリズムを習得、理解する。 ・様々な曲にのり踊る事ができるようベーシック、リズムやアイソレーションを活かし、幅広いヒップホップにのせて踊る。 ・「オールドスクール」「ミドルスクール」「ニュースクール」に触れ理解する。 ・ジャンル別のステップを踊る事ができる。 ・ヒップホップの曲や年代別の曲で同じスタイルの踊り、多様で自由な踊りを知る事ができる。

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	様々なヒップホップの曲のリズムを理解、把握。ヒップホップに乗せてリズムやアイソレーションの練習。基礎体力、筋力の上昇の為の筋トレ。基礎ステップの把握、習得。
【前期】 4～7回目	基礎ステップの習得。基礎ステップの組み合わせルーティーンを踊れるよう身に付ける練習。ヒップホップに乗せリズムやアイソレーション、ステップを組み合わせルーティーン、振付を練習。
【前期】 8～10回目	基礎ステップ、必修ステップを習得。多くのバリエーションでステップを組み合わせせも身に付ける。ステップ、リズム、アイソレーション、ポーシングの組み合わせルーティーンで楽曲のワンコーラスを踊る練習。
【前期】 11～13回目	基礎ステップ、必修ステップの習得復習、クオリティ上げる反復練習。【課題曲1】学んだ内容やプラスαの振付を理解習得。仕上げ、前期テストを通して基礎ステップ、必修ステップの名前やクオリティをチェック。課題曲1の発表。
【前期】 14～17回目	【前期まとめ】実施試験の成果、結果を踏まえて個々へのフィードバックとアドバイス。後期に向けての個々の細かい修正ポイントや、技術向上。体幹作りとアイソレーションをレベルアップアップしたボディーコントロールの練習。 ■前期試験:課題曲を通して、「リズム(ダンス感)/知識/クオリティ/ニュアンス」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	前期フィードバックを踏まえ練習、復習、改善。応用ステップを習得。「オールドスクール」に触れ、ヒップホップにも使われる技やステップ、ノリを理解習得。【振付1】それぞれの要素ヒップホップを組み合わせた振付を習得。
【後期】 21～24回目	振付1の復習、クオリティ上げ。「ミドルスクール」に触れ、ヒップホップにも使われる技やステップ、ノリを理解習得。【振付2】それぞれの要素ヒップホップを組み合わせた振付を習得。ソロやフリースタイル、自由に踊れるよう練習。
【後期】 25～27回目	振付2の復習、クオリティ上げ。「ニュースクール」に触れ、ヒップホップにも使われる技やステップ、ノリを理解習得。【振付3】それぞれの要素ヒップホップを組み合わせた振付を習得。ソロやフリースタイル、自由に踊れるよう磨く。
【後期】 28～30回目	振付1.2.3の復習。ソロ、フリースタイルを磨く練習。自分で振付を考えてその場で発表。後期テスト【振付1.振付2.振付3】の中から1～3課題としていた振付の実施。「オールドスクール」「ミドルスクール」「ニュースクール」の中よりステップを実施、ステップ名を答える。
【後期】 31～34回目	【後期・最後まで】後期試験の成果、結果を踏まえたフィードバックと改善アドバイス。レベルアップの為の要素。2年生に向けての、全般的な身体の使い方や細かい自己の身体の動かし方を活かせる為の練習、意識、アドバイス。 ■後期試験:課題曲を通して、「リズム(ダンス感)/知識/クオリティ/ニュアンス」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム(ダンス感)/知識/クオリティ/ニュアンス」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ヒップホップは音楽に乗って自由に踊ることが特徴で、ソウルダンスやジャズなど、他ジャンルのダンス要素を取り入れるなど、時代によって新しいスタイルが生まれ、進化してきたダンスです。曲から踊りまで幅広く様々なノリも含めマスターすることで、より自由に楽しく踊る事ができるし、ダンサーの仕事としても必須なジャンルとなります。楽しみながらカッコよく踊れるように頑張りましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンスパフォーマンス実習Ⅰ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	歌唱/演奏実技Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	DA PUMPの全国ツアーに帯同し、振付・サポートダンサーとして出演。 また、テレビCM「TAX」にメイン出演。その他、福岡発のアイドルグループ「LinQ」の総合演出・振付を行うなど、多方面にて活躍中。					
授業概要						
「パフォーマンスの歴史と体系」とリンクした、体感する実技授業。様々なジャンルに触れながら技術の進化の仕方を習得します。 『ヒップホップ』『ハウス』『ロック』『ジャズ』『バレエ』『フリースタイル』『ソウル』といった各カテゴリーのダンス形態をその特性を学びながら体得していきます。						
到達目標						
・時代、音楽に合わせたダンスを理解する。 ・一つのムーブで歴史的進化を理解する。 ・音楽との関わり方をダンスで表現できる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1930年代 Jazz~に学ぶBasicなダンス
【前期】 4～7回目	1960年代 Soul Musicに学ぶ① / 各部所をリズムを取りながら動かす。
【前期】 8～10回目	1960年代 Soul Musicに学ぶ② / リズムダンスの基礎となるSoul danceの習得
【前期】 11～13回目	1970年代 Funk Musicに学ぶ① / Locking
【前期】 14～17回目	1970年代 Funk Musicに学ぶ② / Popping ■前期試験:課題曲のダンス実技にて、「リズム・完成度」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	1980年代 Disco Musicに学ぶ① / Waack・Punking・Breaking
【後期】 21～24回目	1980年代 Disco Musicに学ぶ② / Party dance
【後期】 25～27回目	1990年代~現代 HipHop Musicに学ぶ① / New Jack Swing
【後期】 28～30回目	1990年代~現代 HipHop Musicに学ぶ① / New School
【後期】 31～34回目	1990年代~現代 House Musicに学ぶ / House ■後期試験:課題曲のダンス実技にて、「リズム・完成度」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム・完成度」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	「パフォーマンスの歴史と体系」と連動した授業です。映像で見た動きを解析しながら動いて見ましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	コリオグラファー I		授業形態 / 必選	実習		選択
	学則別表上表記	楽曲制作 I	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■ 音楽アーティスト科 ダンスパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	DA PUMPの全国ツアーに帯同し、振付・サポートダンサーとして出演。 また、テレビCM「TAX」にメイン出演。その他、福岡発のアイドルグループ「LinQ」の総合演出・振付を行うなど、多方面にて活躍中。					
授業概要						
・色々な楽曲を使用して、振り付けしたり構成力を身に着ける。 ・振付で使用する楽曲の分析(歌詞の内容や、カウント割りなど) ・幅の広い振付をすることや人に伝える方法を考える。						
到達目標						
・様々な楽曲に振付ができるようになります。 ・ダンスの構成力を養います。 ・自分自身が踊ることも、他人を踊らせることもできるようになります。 ・様々なシチュエーションに合わせた振付、構成を考えられるようになります。 ・踊り手の魅力や楽曲の面白さを引き出すための感性を磨きます。 ・多数のジャンルの楽曲や様々なシーンを想定して、振付の引き出しの多さや、引き出す速さを磨きます。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	楽曲の分析、構成や流れを理解する。
【前期】 4～7回目	楽曲の分解、構成を書き出す方法を覚える。
【前期】 8～10回目	楽曲の分解、構成を書き出して振付する。
【前期】 11～13回目	課題曲(テーマ)に合った振付をする。
【前期】 14～17回目	振付を人に伝える方法を覚える。 ■前期試験:オリジナルダンスの創作によって「独自性/完成度」の2項目の到達度を評価する。
【後期】 18～20回目	色々な場面での振付を考える。
【後期】 21～24回目	振付に合わせた構成を考える。
【後期】 25～27回目	振付を見せ合う。
【後期】 28～30回目	総合的に形にしていく。
【後期】 31～34回目	実際に踊ってみる、動画でチェック ■後期試験:オリジナルダンスの創作によって「独自性/完成度」の2項目の到達度を評価する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「独自性/完成度」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	コリオグラファー(振付師)は自分が踊ることは元より、他者を踊らせる、動かす力を身に付ける事が大切だと思います。 この授業を通して踊る事自体を他覚的に理解して、自身の踊りの幅を広げて行けると 생각합니다。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ボディメイクⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	ボディメイクⅠ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスパフォーマー				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	トレーナー歴8年目 一般の方からコンテスト選手まで約7000人を指導。 福岡大会グランプリ、日本大会グランプリを輩出。 自身もコンテストで優勝経験あり。				
授業概要					
・エンターティナーとボディメイクの関連性、必要性を学習します。 ・身体を整える事、鍛える事、でパフォーマンス力を向上させます。 ・ボディメイクをする事によって、パフォーマーとしても自信をつけれるようになります。					
到達目標					
・パフォーマンスする上で必要な心肺機能や肺活量、体軸、柔軟性、筋力アップを目指します。 ・パフォーマンスをする上で怪我をしないための体づくりとして、体の整え方、正しい姿勢の作り方を習得します。 ・自分に自信をつけるためのシルエットを作り、トレーニング方法を身につけます。 ・健康的で理想的な体の作り方を学習します。 ・体づくりの基盤となる、運動、食事、姿勢、に重点を置き、最終的には自分で出来るようになるボディメイクの自立を目指します。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ボディメイクとエンターテイメントの関連性を理解し、必要性を学ぶ。
【前期】 4～7回目	根本的な体の使い方、正しい姿勢や歩き方、座り方を学び正しい筋肉の使い方を知る。
【前期】 8～10回目	ウォーミングアップ、クールダウンの必要性、運動前後のストレッチの種類を学ぶ。
【前期】 11～13回目	上半身、下半身のコンディショニングを学び体の土台作り体軸を作る。
【前期】 14～17回目	テスト勉強に向けボディメイクとエンターテイメントの関係性を理解し、身体作りの基盤となる運動、睡眠、食事の大切さを再認識する。 ■前期試験:筆記試験にて、「ボディメイクとエンターテイメントの関係性、身体作りの基盤となる運動、睡眠、食事を理解する。
【後期】 18～20回目	胸、胸、トレーニング習得。
【後期】 21～24回目	お腹、腕、トレーニング習得。
【後期】 25～27回目	お尻、足、トレーニング習得。
【後期】 28～30回目	様々な運動体験を通して運動の楽しさを知る。
【後期】 31～34回目	テスト勉強に向け 代表的なトレーニング実技の習得。 ■後期試験:筆記・実技試験にて、「食事や睡眠の大切さ・実技トレーニング」の理解度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ボディメイクの重要性/体の構造/ストレッチの重要性/有酸素、無酸素運動の効果/トレーニングの知識」の5項目の理解度・到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	今よりもっとパフォーマンス力をあげて、綺麗な身体、カッコいい身体、健康的な身体を手に入れ、 パフォーマーとしても自分に自信をつけてくれるのがこのボディメイクです！ 身体の事を学ぶ事は一生の財産！ この授業を通して運動をする事を楽しみながら、理想の自分づくりを始めてみましょう！
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ジャズⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	パフォーマンス実技Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスパフォーマー/ダンスヴォーカルパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	・堂本光一主演ミュージカル「Endless SHOCK」、亀梨和也主演ミュージカル「DREAM BOYS」ダンサー出演 ・東京モーターショー、プロモーションビデオ「no more」「RESCUE」ダンサー出演					
授業概要						
バレエのバーを用いて、ジャズダンスの基礎的な動きをマスターし、様々な楽曲を表現できる技術を習得します。						
到達目標						
・基礎体力、柔軟性、体幹がなぜ必要なのか理解する。 ・バレエの基礎的な体の使い方を理解する。 ・ジャズダンスが踊れるようになる体の作り方を理解する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	基礎の動きの説明と理解。(ひきあげ、アンデオール、ポードブラ)
【前期】 4～7回目	フラットバック、プリエ、タンジュ、デガジュ、基礎の動き、柔軟性、体幹の強化。
【前期】 8～10回目	アンデオールを保ったまま、プリエ、タンジュ、デガジェ、ロンデージャンを身につける。
【前期】 11～13回目	ルルベアップとアテールをしっかり使えるようになる。
【前期】 14～17回目	ジャズの基礎的な動きを用いた振付の練習と前期の振り返り。 ■前期試験:ダンスの実技を通して「楽曲に合った動き / 振り覚え / 理解度」の3項目の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	今までの動きを、片足やルルベや移動しながらスムーズに行える様身につける。
【後期】 21～24回目	つま先から頭の先、指先まで意識しつつ基礎の動きが行えるよう身につける。
【後期】 25～27回目	身体がぶれず、しっかりと床を押してジャンプが出来るように身につける。
【後期】 28～30回目	ジャズの基礎ターン(ピルエット)を一周左右できるよう練習。
【後期】 31～34回目	一年間の動きを入れた、ジャズの振付の練習と前期、後期の振り返り。 ■後期試験:ダンスの実技を通して「楽曲に合った動き / 振り覚え / 理解度」の3項目の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「楽曲に合った動き / 振り覚え / 理解度」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ダンスに必要な基礎の動き、体幹などを身につけることができます。柔軟性も身につけてくるので様々な動きに対応できるようになります。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブスタイル実習Ⅰ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	アンサンブル基礎Ⅰ		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスパフォーマー/ダンスヴォーカルパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	BTSやAKB48など、他多数著名アーティストのバック、サポートダンサーをつとめるなどの他、スタジオインストラクター、コレオグラファー、アーティスト育成、シンガーとしても全国でのライブやラジオ、大物アーティストとの共演やバックコーラスなど他多数。					
授業概要						
様々なスタイルの課題を通して、それらが内包するテクニックやリズム、グループフィールやステージング技術の習得を目指すのがライブ実習。ヒットナンバーのパフォーマンスを通してライブ感やステージ対応の更なるグレードアップをはかります。ダンスグループとしての様々な楽曲での振付、ダンステクニックや基礎技術を身につけ、パフォーマンス・表現力を磨きます。						
到達目標						
・ダンステクニックや基礎技術、全てのパートを含めたフォーメーション、ステージングの習得。						
・体力の向上、リズム感の向上、パフォーマンス、表現力を磨く。						
・グループとして一つの楽曲を創り上げていき、ステージ発表やライブウィークでのヴォーカルを惹きたたせるパフォーマンス・表現力、基礎知識や技術の習得。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 4～7回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 8～10回目	3曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 11～13回目	LIVE WEEK リハーサル:課題曲の振付、フォーメーションを揃え、シルエットや自己表現も更に磨き、仕上げる。
【前期】 14～17回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■前期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 21～24回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 25～27回目	3曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 28～30回目	LIVE WEEK リハーサル:課題曲の振付、フォーメーションを揃え、シルエットや自己表現も更に磨き、仕上げる。
【後期】 31～34回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■後期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メインダンサーではなく、ダンスヴォーカルグループの中でのダンスパフォーマンス・テクニックを身につけ、ヴォーカルを惹きたたせながら楽曲をより魅力的に表現することが出来ます。それと同時に、体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上、立ち姿やシルエットなどを意識し、曲調に合ったパフォーマンスを見せることが出来ます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブパフォーマンス実習Ⅰ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	アンサンブル応用Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスパフォーマー/ダンスヴォーカルパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	BTSやAKB48など、他多数著名アーティストのバック、サポートダンサーをつとめるなどの他、スタジオインストラクター、コレオグラファー、アーティスト育成、シンガーとしても全国でのライブやラジオ、大物アーティストとの共演やバックコーラスなど他多数。					
授業概要						
様々なスタイルの課題を通して、それらが内包するテクニックやリズム、グループフィールやステージング技術の習得を目指すのがライブ実習。ヒットナンバーのパフォーマンスを通してライブ感やステージ対応の更なるグレードアップをはかります。ダンスグループとしての様々な楽曲での振付、ダンステクニックや基礎技術を身につけ、パフォーマンス・表現力を磨きます。 ※アンサンブル基礎Ⅰの二コマ目として実施						
到達目標						
・ダンステクニックや基礎技術、全てのパートを含めたフォーメーション、ステージングの習得。						
・体力の向上、リズム感の向上、パフォーマンス、表現力を磨く。						
・グループとして一つの楽曲を創り上げていき、ステージ発表やライブウィークでのヴォーカルを惹きたたせるパフォーマンス・表現力、基礎知識や技術の習得。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 4～7回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 8～10回目	3曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【前期】 11～13回目	LIVE WEEK リハーサル:課題曲の振付、フォーメーションを揃え、シルエットや自己表現も更に磨き、仕上げる。
【前期】 14～17回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■前期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	1曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 21～24回目	2曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 25～27回目	3曲目の課題曲での振付・フォーメーションを覚え、ダンスパフォーマンステクニックを身につける。体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上を行う。
【後期】 28～30回目	LIVE WEEK リハーサル:課題曲の振付、フォーメーションを揃え、シルエットや自己表現も更に磨き、仕上げる。
【後期】 31～34回目	課題曲の振付、ダンスパフォーマンス・自己表現を交え発表する。 ■後期試験:課題曲のダンス実技にて、「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「振付 / ダンスパフォーマンス / 表現力 / 平常点」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メインダンサーではなく、ダンスヴォーカルグループの中でのダンスパフォーマンス・テクニックを身につけ、ヴォーカルを惹きたたせながら楽曲をより魅力的に表現することが出来ます。それと同時に、体力の向上、リズム感の向上、ポーズ・踊りの質の向上、立ち姿やシルエットなどを意識し、曲調に合ったパフォーマンスを見せることが出来ます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンスヴォーカルユニットⅠ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	アンサンブル発展Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ダンスパフォーマー/ダンスヴォーカルパフォーマー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	ダンスチーム Mool(モール)に所属。福岡を拠点に AKB48、KAZU(BROWN SUGAR)、比花知春、Alice、fumika 等のバックアップダンサーをつとめる。 2005年よりダンスをはじめ、2014年よりインストラクター、今日に至る。					
授業概要						
シンガーが歌ってダンサーが踊ってバックアップという形だけではなく、全員がヴォーカルでありダンサーで同時に行っていく形もとっていきます。一曲ごとにヴォーカルを交代したりローテーションを回す形でなく、一曲の歌割の中で代わる代わる全員が歌って踊りながらパフォーマンス出来るような技術も意識、習得します。歌も踊りも同時に経験をして、それぞれがアーティストの意識をもっていけるパフォーマンスを目指します。						
到達目標						
・シンガーもダンサーも、お互いの魅せ方、難しさを知る。						
・躍りながら、フォーメーションをしながらマイクの受け渡しなどを体感し、容易にできるようになる。						
・色々な動きや魅せ方をダンスだけ、歌だけでなく同時に行ったり、選択を出来るようにしていく。						
・ダンスヴォーカルとして魅せるパフォーマンス、グループ全体、仲間を感じて一体感のあるパフォーマンスを目指す。						
・歌って踊る、歌いながら踊るを個々にパフォーマンスできるようになる。						
授業計画・内容						
【前期】 1～3回目	ダンスヴォーカルユニットの説明、年間を通してどうやっていくか、イメージ、意識を作る。 個々の歌声や特徴を知りつつグループディスカッション。パフォーマンスをするにあたってポイントや要素を学習。リズムやアイソレーションを使ったダンスの基礎練習。声のブレない身体の使い方の学習。【課題曲 1】楽曲の歌詞や主線のキー、ハモリと楽曲振付を覚える。					
【前期】 4～7回目	【課題曲 1】振付のクオリティを上げてレベルアップ。マイクを回しながら全員がマイクを持った状態での振付意識、学習。実際に歌唱しながらのダンスを実践していきクオリティを上げる。構成フォーメーション・歌割に沿ったパフォーマンスを高める。					
【前期】 8～10回目	【課題曲 2】課題曲1の内容を踏まえながら、活かしてより良いパフォーマンスを作っていく。 マイク受け渡しなど、振付も踏まえて、より高度に練習。構成フォーメーション・歌割に沿ったパフォーマンスを高める。目線や仕草などオーディエンスを意識した練習。					
【前期】 11～13回目	仕上げ、歌や踊りだけでなくフォーメーションもしっかりと仕上げる。【実践形式LIVE授業】仕上げ 課題曲1 課題曲2をオーディエンスが実際にいるステージでのLIVE授業にて披露発表。【ダンスヴォーカル実技】ダンスパフォーマンスをしながら歌唱の実技を確認。					
【前期】 14～17回目	【前期まとめ】LIVE授業と実技テストで披露した課題曲1 課題曲2の成果、結果を踏まえてフィードバックとアドバイス。後期に向けての個々の修正ポイントや、技術向上。ブレない体幹作りとアイソレーションのレベルアップ。 ■前期試験:課題曲を通して「ヴォーカル / ダンス / リズム・ピッチ / パフォーマンス」の4項目の到達度を確認する。					
【後期】 18～20回目	前期のフィードバックした内容の改善。ブレない身体技術の向上の反復練習。リズムや基礎の向上練習。【課題曲 3】歌詞、ポイントを押さえて歌唱練習。パート分けのローテーション歌唱。振付、構成を覚え、踊りのクオリティを上げる練習。 マイク受け渡しも含めて通して仕上げる練習。					
【後期】 21～24回目	課題曲3のダンス、歌唱、フォーメーションのクオリティを仕上げる。【課題曲 4】歌詞、ポイントを押さえて歌唱練習。パート分けのローテーション歌唱。振付、構成を覚え、踊りのクオリティを上げる練習。 マイク受け渡しも含めて通して仕上げる練習。					
【後期】 25～27回目	課題曲4のダンス、歌唱、フォーメーションのクオリティを上昇させ仕上げる。選択課題曲1 選んだグループで歌割、練習。課題曲1.2.3.4.選択1の複数曲でのパフォーマンスを想定した練習。 体力向上を踏まえたトレーニング。LIVEを想定したセットリストをディスカッションし練習。					
【後期】 28～30回目	【実践形式LIVE授業】仕上げ 課題曲3 課題曲4をオーディエンスが実際にいるステージでのLIVE授業にて披露発表。【ダンスボーカル実技】レベルアップしたダンスパフォーマンスをオーディエンスを意識しながら歌唱の実技を確認。					
【後期】 31～34回目	【後期・最後まで】課題曲3 課題曲4の成果、結果を踏まえてフィードバックとアドバイス。最後に課題選択の複数曲で構成したセットリストの披露。フィードバックとアドバイス。一年間のまとめと個々の修正ポイントや、技術向上。 ■後期試験:課題曲を通して「ヴォーカル / ダンス / リズム・ピッチ / パフォーマンス」の4項目の到達度を確認する。					
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ヴォーカル / ダンス / リズム・ピッチ / パフォーマンス」の4項目の到達度を評価する。					
学生へのメッセージ	ダンスヴォーカルを通して、歌で魅せる、踊りで魅せるだけでなく、歌いながら踊って魅せるという事をやってみましょう。ヴォーカルだけ、ダンスだけでは気付けない魅せ方やニュアンスなどを同時に学習、習得することができます。歌手であるとともに、もう1つの技術であるダンステクニックと魅せ方を手に入れることで、周りとの差をつけることもできます。そしてダンスヴォーカルグループとしてデビューする場合には大きな経験になります。					
備考						